

●償却上手くんα Version 4.403

●償却上手くんαクラウド・償却上手くんαクラウドSE Version 4.403

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7 搭載機へのインストールは不可となっています。

◆ 登録・入力・計算書

➤ 資産データ入力

①旧定率法・旧定額法で「限度 = 0%」の場合

- ・科目設定で旧定率法・旧定額法の「限度」を「0%」にしている場合、期末帳簿価額 0 円まで償却できるところ、期首帳簿価額が 1 円の時に普通償却限度額や普通償却額では 1 円償却するが、期末帳簿価額に 1 円残るなどの対応だったのを、「0 円」まで償却できるように修正しました。
* マスターバージョンアップで修復します。

◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“減価償却 d b (VERSION:4.403) の変更点”を参照してください。

❗注意

- 他のICSシステムとマスターのやり取りを行われる場合は、他のICSシステム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

※上手くんαシリーズは Windows8.1 及び SQL Server 2012 において、2023年1月10日をもってサポートを終了させていただきます。期日以降に提供しますプログラムは、Windows8.1 及び SQL Server2012 搭載機にはインストール不可となります。

減価償却 d b (VERSION : 4.403) の変更点

変更内容

I. 登録・入力・計算書

1) 資産データ入力

①旧定率法・旧定額法で「限度=0%」の場合

- ・科目設定で旧定率法・旧定額法の「限度」を「0%」にしている場合、期末帳簿価額 0 円まで償却できるところ、期首帳簿価額が 1 円の時に普通償却限度額や普通償却額では 1 円償却するが、期末帳簿価額に 1 円残るなどの対応だったのを、「0 円」まで償却できるように修正しました。

* マスターバージョンアップで修復します。

②圧縮記帳（前期取得・当期供用）

- ・前期取得し当期供用した資産で、「期首圧縮記帳残高」欄が入力できなかったのを、入力を許可するように対応しました。

* 上記は、マスターバージョンアップ時に追加します。

《修正前》

経理方式	引当金方式
取得価額	2,200,000
圧縮記帳額	1,000,000
圧縮後取得価額	1,200,000
期首圧縮記帳残高	
期中取崩額	
期末圧縮記帳残高	1,000,000

《修正後》

経理方式	引当金方式
取得価額	2,200,000
圧縮記帳額	1,000,000
圧縮後取得価額	1,200,000
期首圧縮記帳残高	1,000,000
期中取崩額	
期末圧縮記帳残高	1,000,000

- ・上記に伴い、資産データ入力や圧縮記帳ウインドウの圧縮記帳額と期首圧縮記帳額の金額チェックも行うようにしました。翌期更新・シミュレーションにも影響します。

資産データ過剰入力
期首圧縮記帳残高が圧縮記帳額より大きくなっています。

2) 出力全般

①カラープリンターの印刷設定と出力

- ・カラープリンターの印刷設定で「モノクロ」を選択していても、出力時の印刷ダイアログで「カラー印刷を行う」を選択した場合は、選択を優先してカラーで出力するように修正しました。

- ・関係する出力は下記の通りです。

購入・除却・売却資産一覧表
各種登録内の各種リスト
データチェックリスト
減価償却計算書
減価償却過不足計算書
固定資産台帳
200%定率法特例資産の移行時一覧表
減損資産一覧表・計算リスト
一括償却資産明細書
少額特例資産明細書

3) 新規会社登録・修正・削除

- ①新規会社登録・修正・削除業務中の会社選択
 - ・作成済み減価償却マスターを開いた後に、会社選択で未作成マスターに切り替えると、科目作成区分が正しく表示されなかったのを修正しました。
 - ・作成済み減価償却マスターを開いた後に、会社選択で「財務あり・減価償却なし」のマスターを選択して新規作成に進むと、「部門使用有無」と「部門桁数」が財務マスターから連動されなかったのを修正しました。
 - ・部門無しの作成済み減価償却マスターを開いた後に、会社選択から「F12 新規作成」を行うと「部門桁数」と「配賦」が設定不可（グレー）になっていたのを修正しました。
- ②作成方法の選択
 - ・新規作成登録時の「作成方法の選択」で、償却計算設定を複写する場合に「普通・特別償却額」「必要経費算入額」の端数設定が複写されていなかったのを修正しました。
- ③会社情報修正時のエラー
 - ・会社情報を修正（例：中間申告を「無し」から「有り」に変更）し、修正書き込みを行うと、「クエリが時間切れになりました」とエラーを表示して画面が終了し、修正内容も書き込みされていない現象があったのを修正しました。
- ④財務マスターとの差異チェック
 - ・財務マスターと減価償却マスターが同じ会社コードの場合、財務マスターが先行し減価償却マスターが過年度となっている場合に、新規会社登録・修正・削除を開けて終了すると、同一年度分の財務マスターとではなく、当期の財務マスターと比較して差異の警告メッセージを表示していたのを、同一事業年度のマスターと比較するように修正しました。

II. 導入・更新

1) 翌期更新

- ①経理上手クラウドマスター使用時
 - ・経理上手側でクラウドマスターを開いている状態又はクラウド転送未了状態で、事務所側から翌期更新の会社選択を行うと、正しいメッセージが表示されず、又、事業期間が文字化けしていたのを、「選択されたマスターは、マスター共有先で現在使用中です。」と警告し、事業期間も正しく表示するようにしました。
- ②圧縮記帳
 - ・前期取得で当期供用資産の場合に、期首圧縮記帳残高の欄を入力可能する対応に伴い、翌期更新、前年度からの更新時の、翌期の期首圧縮記帳残高の計算を修正しました。

III. 通信・移動

1) 減価償却マスター抽出

- ①表示文字数拡張
 - ・減価償却データ抽出の受信一覧に出てくる送信社名を、会社登録での最大数（20文字）まで表示するように対応しました。
 - * 下記画面の赤点線枠部分。通常は15文字程度の表示となりますので、下記のように表示枠を広げて確認してください。

②過年度マスターの表示

- ・減価償却データ抽出の受信一覧画面に過年度の項目を追加し、過年度データの場合は、年度表示するように対応しました。下記赤枠部分

番号	送信社名	業種	受信状況	過年度	受信日
0001	運送本舗法人株式会社	運送業			019-12-19 16:12:14 (マスター)
0034	財務 減価償却仕訳作成	法人			021-05-25 11:51:12 (マスター)
0035	財務 減価償却仕訳作成	法人			021-05-25 11:59:59 (マスター)
0042	サンプル法人	法人	抽出済		022-04-15 10:47:24 (マスター)
0048	圧縮を勉強しよう	法人	抽出済		022-05-11 19:22:31 (マスター)
0050	白山一郎	個人	抽出済		022-05-12 11:59:51 (マスター)
0051	サンプル法人	法人			022-05-12 11:59:55 (マスター)
0053	期首圧縮記帳残高	法人	抽出済		022-05-23 10:59:45 (マスター)
0054	サンプル法人	法人			022-06-16 14:00:06 (マスター)
0055	サンプル法人	法人			022-07-19 09:33:21 (マスター)
0062	サンプル法人	法人	抽出済		022-10-06 15:09:21 (マスター)
0066	講原本 株式会社ABC 修正しない電子	法人			022-11-21 16:37:04 (マスター)
0067	ファミリーホームズ (株式会社TOMATOMATO)	建設		令和 3年	022-12-13 17:29:20 (マスター)
0068	ファミリーホームズ (株式会社TOMATOMATO)	建設			022-12-13 17:29:29 (マスター)

③新規作成する場合

- ・減価償却マスター抽出等で、減価償却単独マスターを新規作成する場合に、一部正しく作成されない事があったのを修正しました。

2) 減価償却マスターコピー

①USBからのコピー

- ・下記条件の時に、USBからHDへマスターコピー中にエラーになる場合があったのを修正しました。
 - *会社名にシングルクォーテーション (') が使用されていて「勘定科目内訳書」マスターが同居している場合。

以上